

避難所では

- ◆ 視覚に障がいのある人には、トイレや水道などの場所確認のための誘導を行いましょう。仮設トイレなどを屋外に設置する場合は、壁伝いに行くことができる場所に設置するなど、移動が容易にできるよう配慮しましょう。
- ◆ 聴覚に障がいのある人のために、お知らせなどは紙に書いて知らせましょう。
- ◆ 車いすが通れる通路やスペースを確保しましょう。
- ◆ 環境の変化を理解できず精神的に不安定になる人には、やさしく短い言葉や文字、絵、写真などを用いて避難所での生活をわかりやすく伝えましょう。ゆっくり話しかけるなど、気持ちを落ち着かせるよう配慮しましょう。
- ◆ 日本語がわからない外国人のために、お知らせなどは多言語で行うなど工夫して表記しましょう。



- ◆ 男女のニーズの違いや LGBT など多様な性への対応に配慮しましょう。例えば、更衣室、授乳室、乳幼児室など女性専用スペースの設置、こどもの学習スペース等の設置、女性用品は女性による配布を行うことなどしましょう。
- ◆ 外国人は基本的な生活習慣に違いがある場合がありますので、お互いに理解し合いましょう。

あなたの支援プラン（ひとりで避難することに不安のある方用）

名前		住所	
		電話	FAX
● 支援の必要な理由（要介護度、障がい者手帳の等級および具体的な症状）			
● 災害時の避難方法			
支援者	名前	住所	電話 FAX
	名前	住所	電話 FAX
● かかりつけ医療機関			
● かかりつけ以外であなたの病状などに対応できる医療機関			
同居家族	名前	続柄	名前 続柄
	名前	続柄	名前 続柄
緊急時の連絡先	名前	続柄 住所	電話
	名前	続柄 住所	電話

- 災害時に支援してくださる方へ写しを渡しておきましょう。